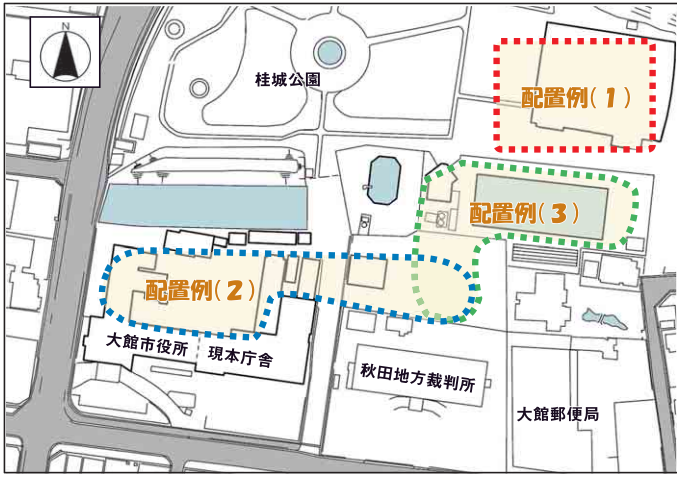


皆さんからいただいた意見の中で、件数が多かったものなどを、主要な項目ごとにお知らせします。

本庁舎の建設候補地について

『配置例1』の市民体育館の場所が良いと回答したかたが16%、『配置例2』の現在の本庁舎と堀の間が良いと回答したかたが15%、『配置例3』の市民プールの場所が良いと回答したかたが7%、『配置例』の1から3の中でさらに検討して決めれば良いと回答したかたが26%で、現庁舎敷地及びその周辺敷地が良いと回答したかたの合計は64%となりました。



配置例1・3を選択した主な理由

- 現庁舎解体後の敷地を広く利用でき、駐車場の十分な確保ができる。
- 仮庁舎の建設の必要がない。

配置例2を選択した主な理由

- 市民プールや体育館を解体する必要がなく総事業費が安い。
- 市役所が分かりやすい。
- 主要道路に接している。

現在地を選択する理由

- 高台にあるので、水害等の心配が少なく防災拠点として適地である。
- 他の公共機関に近く、官庁街として定着している。
- 長年慣れ親しんだ場所である。
- 市の中心部で、交通の便が良い。

次に、全く別の場所が良いと回答したかたは31%でした。

建設場所と主な理由

- ◇ 旧小坂鉄道跡地も含めた大館駅周辺(110件)
 - 大館の玄関口として駅前が寂しく、駅前開発や活性化につながる。
 - 電車も含めた交通の利便性が高い。
- ◇ 旧ジャスコ跡地(65件)
 - 敷地が広く、駐車場を確保できる。
 - 道路条件が良く、交通の便が良い。
- ◇ 田町球場(18件)
 - 総合病院も近く、市民の利便性が高い。
- ◇ その他の候補地
 - 大館高校を活用(15件)
 - 比内庁舎

本庁機能の集約について

基本構想案では、現在、分散している福祉部(総合福祉センター、正職員数は平成25年度で57人)と産業部・農業委員会事務局(三ノ丸庁舎、正職員数は同じく37人)を平成32年度に本庁舎に集約し、比内総合支所に配置している建設部と田代総合支所の教育委員会事務局は、業務量や職員数の推移を見ながら、平成52年度までに本庁舎に集約することを目指す内容となっています。

また、比内・田代両総合支所は、住民票、戸籍、税収納など住民生活に密着した窓口を現在と同様存続させ、地域の行政サービスの拠点としていくことにしています。

市民の皆さんの意見

- 1カ所で全部用事を済ませられる庁舎にしてほしい。
- 分庁舎は市民サービス(住民票取得等)だけにし、行政機能は1カ所に。この人口で分庁舎はムダ。
- 一つの手続きをするのに複数の建物に行かなければならないのは、行政サービスとして論外だ。
- 市民の利便性を考え、必要な機能は各地区に残し、1カ所に機能を集約すべき。
- 経済性や効率性を考え、1カ所に機能を集約すべき。
- 分庁舎は現在3つあるが、それ以上増やすことには反対。駅前は商工業を誘致し、市役所はできるだけ早く1カ所に集約すべき。25年後の維持管理費も考慮すべき。
- 駅前開発を考えた分庁舎方式を採用すべき。
- 今後まだまだ利用可能な比内・田代庁舎、また、現在の市民部の建物も有効活用しつつ、駅前の小坂鉄道跡地を使用するなど分庁舎方式を取り入れるべき。



本庁機能の分散の状況(平成26年度)

本庁舎	市民部、総務部、会計課 選挙管理委員会事務局、議会事務局
三ノ丸庁舎	産業部、農業委員会事務局
総合福祉センター	福祉部(福祉課、子ども課、長寿課)
保健センター	福祉部(健康課)
比内庁舎	建設部、監査委員事務局
田代庁舎	教育委員会事務局